

can-do 3つの思考力を伸ばす指標

GPS-Academicでは、それぞれの思考力について、5段階(S・A・B・C・D)で評価している。
各観点について、今、どのような力がどの程度身についているのか、下の一覧表で確認しよう。

	 批判的思考力	 協働的思考力	 創造的思考力
レベル	情報を抽出し吟味する	他者との共通点・違いを理解する	情報を関連づける・類推する
S	☐ 目的に応じて自ら必要な資料を探し出し、情報を取り出すことができる ☐ 情報の成り立ち・背景を踏まえて、内容の正しさを判断できる	☐ 他者との信念や価値観の違いを客観的に理解し、常にそれらを尊重できる ☐ 相互のアイデアを共有し、違いを認めつつ、アイデアを包容して建設的に合意形成できる	☐ 知識(教養)と資料とを組み合わせ、問題を特定し、複数の解決策を提案・比較検証したうえで、最善の解決策を選択できる ☐ 情報の成り立ち・背景も踏まえて問題を一般化し、他の事例の解決に応用できる
A	☐ 提示された資料から、目的に応じて必要な情報を取り出すことができる ☐ 情報を、客観的に正しく評価できる	☐ 他者との信念や価値観の違いを理解し、必要に応じてそれらを尊重できる ☐ 相互のアイデアを共有し、違いを指摘しながら、一定の条件下で合意形成できる	☐ 資料をもとに、問題を特定し、複数の解決策を比較検証したうえで、よりよい解決策を選択できる ☐ 問題を一般化し、他の事例の解決に応用できる
B	☐ 提示された資料から、必要な情報を部分的に取り出すことができる ☐ 情報を分類したり区別したりするなどして、客観的に評価できる	☐ 他者との信念や価値観の違いを把握し、それを尊重しようとする ☐ 相互のアイデアを共有し、違いを確認することができる	☐ 条件にそって、よいと思う解決策を選択できる ☐ 提示された事例と他の事例との関連性を指摘できる
C	☐ わかりやすい資料であれば、情報を取り出したり、評価したりすることができる	☐ 他者とは信念や価値観が異なることを知っており、それを尊重することの必要性を理解できる ☐ 相互にアイデアを共有できる	☐ 条件にそって、何らかの解決策を選択したり、他の事例との関連性を理解したりすることができる
D	☐ 範囲が限定された資料について、自分なりの観点で、情報を取り出したり、評価したりすることができる	☐ 他者とは信念や価値観が異なることを理解できる ☐ 相互にアイデアを共有することの必要性を理解できる	☐ 自分なりの観点で、何らかの解決策を選択したり、関連性をみいだしたりすることができる

can-doを意識して、日々の行動を変える!

GPS-Academicで測定している3つの思考力は、大学の授業の中だけで磨くものではない。部活動やサークルなどの課外活動や、日常生活での家族や友だちとの交流の中などでも、日々磨かれていくものだ。

今回の結果は、受検時の状態を示したものである。大事なことは、今後、このcan-doに示されている内容を意識して、大学生活や日常生活の中でどう考え、行動していくか、ということだ。今よりも一つ上のcan-doを意識して、行動や考えを深めたり、変えたりしていこう。